

施策分析シート（平成29年度）

No1

施策名	伝統的文化の保存と継承	施策No	09-03	部課名	地域文化スポーツ部生涯学習課		
				課長名	浦田 内線 3350		
関連部課名							
行政評価 事業体系	分野	文化創造都市					
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進				
目的	区に伝わる有形・無形の文化財を、区民全体の財産として保存・継承するとともに、そのすばらしさを広く内外に周知し、未来へと伝える。						
指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文		
		26年度	27年度	28年度			
	地域への愛着度	2.86	2.85	2.92	荒川区の文化や特色に愛着や誇りを感じますか？		
標	施策の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明	
		26年度	27年度	28年度	29年度 見込み		目標値 (38年度)
	ふるさと文化館利用者数（人）	20,771	23,022	18,455	23,400	25,000	展示室観覧者 + 郷土学習室利用者
	伝統技術展参加職人数（人）	68	72	66	66	68	
	学校職人教室実施学校数（校）	24	24	24	24	24	

（単位：千円）

行政コスト計算書	勘定科目	27年度	28年度	差額	勘定科目	27年度	28年度	差額	
	行政費用	給与関係費		52,734		行政収入	地方税等		0
		物件費		70,773			国庫支出金		1,012
		維持補修費		2,396			都支出金		506
		扶助費		0			分担金及び負担金		0
		補助費等		21,474			使用料及び手数料		408
		減価償却費		40,228			その他		346
		不納欠損・貸倒引当金繰入額		0			行政収入合計(a)		2,272
		賞与・退職給与引当金繰入額		1,948			行政収支差額(a)-(b)=(c)		187,282
		その他行政費用		0			金融収支差額(d)		0
行政費用合計(b)			189,554		通常収支差額(c)+(d)=(e)			187,282	
特別費用(g)		0		特別収入(f)		0			
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0		当期収支差額(e)+(h)		187,282			
貸借対照表	勘定科目	27年度	28年度	差額	勘定科目	27年度	28年度	差額	
	流動資産	収入未済		0		流動負債		1,948	
		不納欠損引当金		0			還付未済金		0
		その他の流動資産		0			特別区債		0
	固定資産	有形固定資産		725,597		賞与引当金		1,948	
		土地		0		その他の流動負債		0	
		建物		1,489,932		固定負債		23,527	
		建物減価償却累計額		764,335			特別区債		0
		工作物等		0		退職給与引当金		23,527	
		工作物等減価償却累計額		0		その他の固定負債		0	
		無形固定資産		0		負債の部合計		25,475	
	建設仮勘定		0		正味財産		922,654		
	その他の固定資産		222,532		正味財産の部合計		922,654		
資産の部合計		948,129		負債及び正味財産の部合計		948,129			

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>区では条例に基づき文化財の登録・指定を行い、文化財の保存・継承に努めている。とりわけ、江戸時代から引き継がれてきた伝統工芸技術においては、多くの指定無形文化財（工芸技術）の保持者がいる。</p> <p>荒川ふるさと文化館では、区の歴史や民俗資料、文化財を紹介する企画展を定期的実施している。また、単一自治体を実施する日本最大規模の事業として「あらかわの伝統技術展」を行い、伝統工芸技術を魅力を内外に発信している。</p> <p>子どもたちに対しては、伝統工芸技術を体験できる「あらかわ職人道場」や、伝統工芸技術保持者を学校に派遣し、技術の実演・解説・体験学習等を行う「学校職人教室」を実施している。</p> <p>継承者育成を目的として、研修手当や指導料を助成する「伝統工芸技術継承者育成支援事業（荒川の匠育成事業）」を実施している。</p> <p>財務諸表の項目では、行政コストとして、物件費が多くかかっており、内容としては荒川ふるさと文化館の施設管理に関する委託料等が挙げられる。</p>
課題	<p>区の伝統文化のすばらしさを広く浸透させ、未来に引き継ぐためには、様々な場面を通じて、その魅力に直接触れる機会を子どもたちに提供することが重要である。</p> <p>伝統工芸技術の修得には長い年月を要することから、伝統工芸技術者自身のたゆまぬ技術の向上・研鑽と併せ、長期間にわたり後継者を育成するための支援が必要である。</p> <p>確かな技術に基づいた質の高い伝統工芸品の良さを多くの人に知ってもらい、また、多くの人の手に行きわたるよう、「あらかわ伝統工芸ギャラリー」を拠点として、更なる周知を行う必要がある。</p>
今後の方向性	<p>次代を担う子どもたちをはじめ、区に住む人々が伝統文化に対する理解を深め、区の文化財等を通じて郷土への愛着と誇りを持つことができるよう、「荒川ふるさと文化館」の収蔵資料や常設展・企画展の更なる充実を図るなどにより、伝統文化のすばらしさを区内外に積極的にPRする。</p> <p>伝統工芸技術を未来に継承するため、伝統工芸に興味・関心があり、職人となる希望を持つ若者に対して、見習いとしての現地実習から本格的な修業に至るまで、ステップに合わせたサポートにより支援を継続して行う。</p> <p>荒川ふるさと文化館に整備した「あらかわ伝統工芸ギャラリー」を拠点として、伝統工芸技術の実演や体験、伝統工芸品を展示・販売などを行い、荒川区の伝統工芸の魅力を広く発信するとともに、伝統工芸品の販路拡大の支援を行う。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
29年度	30年度	
重点的に推進	重点的に推進	区における文化財、史跡、伝統工芸技術の保存・継承において重要であり、引き続き推進する。

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		27年度	28年度	29年度	30年度	
荒川ふるさと文化館管理運営費	05-02-22	50,180	70,318	推進	推進	常設展示、企画展示、文化財の保存・収集・伝統技術関連事業等の情報提供等を行う。
荒川ふるさと文化館事業推進費	05-02-23	3,808	5,177	継続	継続	郷土の歴史や、文化に親しむ講座・展示等を提供する事業を実施する。
奥の細道矢立初めの地子ども俳句相撲大会	05-02-24	868	902	推進	推進	俳句という伝統文化を通じて、子どもたちの国語能力の向上を図るとともに、「俳句のまちあらかわ」奥の細道旅立ちの地南千住を区内外に発信する。
文化財保護奨励費	05-02-25	13,032	10,771	重点的に推進	重点的に推進	区の有形・無形文化財を次代に伝えるとともに、区の文化資源として活用する。
江戸伝統技術	05-02-26	32,536	31,197	重点的に推進	重点的に推進	平成29年5月にオープンした「あらかわ伝統工芸ギャラリー」の運営と匠育成支援事業の充実を図る。
合計		100,424	118,365			